

事務事業名 加茂岩倉遺跡パーキングエリア整備事業		所属部 建設部	所属課 建設事業課	
総合計画体系的	政策名 (Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G 国県事業G	課長名 西川 徹	
	施策名 (13)広域幹線道路の整備	担当者名 富山 照夫	電話番号 0854-40-1062 (内線) 3737	
	目的 対 道路(国道・県道、高速道路)利用者 意 雲南市と他都市及び市内を安全で便利に移動できる。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 8 項 目 中事業 中事業名 1 0 1 5 0 1	国道・県道整備事業 高速道路整備関連事業	
	基本事業名 (037)国道・高速道路の整備促進			
目的 対 道路利用者 意 安全で便利に国道・高速道路を利用する。				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 年度～ 26 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
(事務事業の概要) ・加茂岩倉遺跡地域拠点整備事業に関する関係機関の協議・調整 (具体的なやり方、手順、詳細) ・松江自動車道の加茂岩倉PAから直接本遺跡へのアクセスが可能となるよう協議・調整及び工事を行う。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・加茂岩倉遺跡駐車場整備工事 ・加茂岩倉遺跡駐車場オープン	27年度計画(27年度に計画する主な活動) 平成26年度終了事業			
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 工事進捗率	%		0	100	
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	・高速道路利用者	ア 駐車場	箇所		0	2	
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
・安全・迅速に高速道路を利用してもらう。 ・加茂岩倉遺跡へのアクセスが向上する。	ア 加茂岩倉遺跡利用者	人/年		5,957.0	5,535.0		
	イ 時間短縮(アクセス性向上)	分		0	20		
	ウ 利用者の内PAからの来場者数	人/年		0	195		

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
加茂岩倉遺跡駐車場整備費 繰越 24,567千円 現年 5,354千円	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円				
		千円		11,400	23,100	
		千円			6,040	6,821
		千円			17,440	29,921
		人			3	2
		時間			500	200
		千円			1,947	778
	千円			19,387	30,699	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
中国横断自動車道尾道松江線の三刀屋木次ICまでの開通時に加茂岩倉PAが供用されなかったため、加茂岩倉遺跡パーキングエリア整備事業を中断していたが、三次東ICまでの開通に併せて整備されたため、整備事業を再開した。	PA・SAを活用した地域拠点整備事業により、整備することとなった。合併特例債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	加茂岩倉遺跡パーキングエリア整備事業については、合併前から協議がなされており、地元からの要望がなされていた。

事務事業名	加茂岩倉遺跡パーキングエリア整備事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒		
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		理由 国土交通省、島根県、NEXCOと協議・調整し、整備計画を策定し、事業を実施している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			理由 廃止・休止した場合、加茂岩倉PAが計画され、整備された目的が実現されないこととなる。
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		(具体的な手段や類似事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			理由 統廃合はできない。
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		理由 国土交通省、島根県、NEXCO等と協議し、地域拠点整備事業に取り組み、最小限の事業費で取り組んでいる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			理由 関係機関との協議・調整をし、最小限の人員で事業を実施した。
B 有効性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		理由 加茂岩倉PA地域拠点整備事業への取り組みについては、観光産業など市内全域が対象となることから、高速道路の活用方法の検討・工夫により雲南市全域が受益対象者となる。
	⑩ 1次評価者としての評価結果			⑪ 1次評価結果の総括(根拠と理由)
C 効率性	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国土交通省・NEXCOと協議しながら、工事コスト、ランニングコストを軽減できるよう検討し、協議・整備を行っている。	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
平成26年度完成		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			